

議会だより さかき

Tomorrow

主な内容

- ・新しい構成でスタート……………2P
- ・7億483万円の補正予算 ……5P
- ・対面で一般質問 ……………8P

No. 109

平成19年7月31日





坂小5年2組 響龍太鼓

14名で スタート 対面式で活性化!!

統一地方選挙後の初議会（第1回臨時会）は、5月15日に開催され、議長および副議長、常任委員会、特別委員会ならびに一部事務組合議会議員の選出、農業委員の推薦など議会人事が行われた。町長から提案された専決処分事項の報告を承認、監査委員の選任に同意した。



議長 池田博武

このたび、議員各位の温かいご推挙をいただき、議長の重責を務めさせていただきましたことになりました。もとより浅学非才であります。が、町民各位のご指導、ご協力をいただき、町発展の為に一層の努力をいたす覚悟です。

今回の選挙より議員定数が14人（4人減）に改定されました。新たな出発と認識をし、その責重く微力ながら地方自治の進展に努める所存です。

さて、2000年の地方分権一括法の施行以来、地方自治体の運営は一段と厳

就任のあいさつ



副議長 宮島祐夫

しくなっております。自律を目指している当町にとって、自己選択、自己決定、自己責任がより一層問われております。そして、少子高齢社会、地球環境問題等諸課題が山積されております。この様な時こそ議会権能を強化し議会運営にあたらなければなりません。より開かれた議会を目指し一層努力をする所存です。

に身の引き締まる思いであります。

町政発展のために一層の努力をする決意です。

地方分権の進展に伴い、その役割が一層大きくなると期待されるなか、一方議会には多様な民意の反映住民の意見の集約などの役割分担があります。

議会は、団体意志決定を行う議事機関としての機能と、執行機関の監視を行う責任があります。

今回の議員定数削減は「自律」を目指すためのために、厳しい財政状況のなかでの選択であります。今こそ議会と議員は新しいまちづくりの先導役として、伝統体制を転換し「開かれた議会」の推進に努めたい一般質問の対面式導入で議論の活性化を図ってまいります。

議会構成表

農業委員 (議会推薦)	監査委員	一部事務組合						特別委員会			議会運営委員会	常任委員会		所 属
		千曲坂城消防組合	六ヶ郷用水組合	千曲衛生施設組合	葛尾組合	上田地域広域連合	長野広域連合	広報発行対策	坂城駅周辺整備	高速交通網対策		社会文教	総務産業	
1	1	3	4	3	4	2	2	5	7	7	5	7	7	人員
山城賢一	円尾美津子	春日武	塚田忠澄	山城賢一	林沢春昌江雄	宮島祐夫	池田博武	〇〇安宮島ふ祐み子夫	〇〇田中森邦茂義彦	〇〇山塚城賢一忠	〇〇中安嶋島ふみ登子	〇〇大柳森茂彦澄	〇〇入日嶋時子登	氏名
		入日時子	山入城日賢時一子	大森茂彦	田中中嶋邦義登	安島ふみ子	円尾美津子	山中城嶋賢一登	林安池島博春ふみ江子武	宮円柳島尾沢昌美津子夫	円柳尾沢昌美津子雄	安宮池島島田ふ祐博夫武	林円柳尾沢春美津江子雄	◎委員長 ○副委員長
		大森茂彦		田中邦義				田中邦義	入春日時子武	柳中澤嶋澄登	柳澤澄	田塚中邦義忠	山城日賢一武	

専決処分

◎一般会計補正予算（第11号）は、696万7千円を減額し、総額が62億2千860万円となった。

（全員賛成承認）
町税、地方譲与税、地方消費税交付金、地方交付税等の確定に伴い、18年度の最終補正として3月30日に専決した。

◎国民健康保険特別会計補正予算（第4号）は、1千893万5千円を減額し、13億9千501万8千円となった。

（全員賛成承認）
保険給付費の減額等に伴い、18年度の最終補正として3月30日に専決した。

◎下水道事業特別会計補正予算（第4号）は、335万円を減額し、8億6千92万5千円となった。

（全員賛成承認）
受益者負担金等の確定や一般管理費、施設管理費、公共下水道事業費等の精算に伴い、18年度の最終補正として3月30日に専決した。

◎介護保険特別会計補正予算（第5号）は、900万2千円を減額し、9億88万8千円となった。



南小4年2組 ねずみ大根を学ぶ

条例

い、18年度の最終補正として3月30日に専決した。

◎坂城町税条例の一部を改正する条例について
（賛成多数承認）

地方税法等の一部の改正に伴い、町税条例の町民税について、株式等譲渡所得割に対する特例税率の適用期間の延長。固定資産税では、住宅のバリアフリー改修に伴う固定資産税の減額措置を創設する。国民健康

保険税では、基礎課税額（医療分）の課税限度額を3万円引き上げ56万円にするなどが主な内容で、3月30日に専決した。

◎特別職の職員等の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例について
（全員賛成可決）

給料月額から町長が8%副町長、教育長が5%を、議員報酬月額から議長が3%、副議長および議員が2%を、19年6月1日から20年3月31日までそれぞれ減ずるものである。

柳澤 哲氏
副町長に
長谷川 臣氏
教育委員に

2期8年間にわたり町長を補佐し、まちづくりや道路整備等のために尽力された青木忠雄副町長が、5月31日任期満了により退職となった。

その後任として教育長の柳澤哲氏が選任され、その後任として、教育行政に精通された長谷川臣氏が任命され、議会は全会一致で同意した。

三井 幸雄氏

監査委員に
識見を有する監査委員として2期8年間、町の財務管理など行政運営に尽力された塩入威氏の後任に、前収入役三井幸雄氏が選任され、議会は全会一致で同意した。

第2回 臨時会

第2回臨時会が5月29日に開会され、
町長から副町長、監査委員、
教育委員人事の3議案が提出され、
原案のとおり可決した。

第2回 定例会

第2回定例会は6月12日から22日までの11日間で、

一般質問は13名が登壇した。町長から補正予算など

7議案が提出され、いずれも原案のとおり可決した。

また、議員発議で議会委員会条例の一部改正、

日豪EPA交渉およびWTO農業交渉に関する

意見書が提案され、原案のとおり可決した。

補正予算

7億483万円を計上

13名が総括質疑を

（補正予算について質問した項目は、次のとおりである）

問 まちづくり交付金の道路整備事業とばら公園整備工事の内容は。

問 基金繰入金が前年当初予算より2億1千万円増加するが、前年度末の基金への戻りは。また、産業廃棄物処理費の内容は。

問 町基金と債務の残高は。また、隣保館運営費に占める人件費比率が高いのでは。

問 問題を抱える子ども等自立支援事業と、地域ぐるみの学校安全体制推進事業とは。

問 老人保健事業の健康づくりサポート事業とは。また、消防団施設の拠点施設新設工事の内容は。



ぎおん祭（立町）

また、耐震診断の対象はどこか。分館等施設整備事業の補助金の交付先は。

問 坂城保育園の臨時保育士とは。

問 教育費で学力向上事業の体力テストの項目は。また、南条小学校の豊かな体験活動推進事業とは。

問 町観光DVDを作成するが、その内容と利用方法は。また、昭和橋改良事業の内容と方向は。

問 焼酎商品化は新たな商品開発か。また、林道補修

工事に敷く碎石に、アレチウリの種子が混じっているものを。公営住宅建設工事に、町内企業が入札参加できるか。

問 国際交流事業の内容と方向は。また、坂城駅周辺道路整備事業の建設参与とは何か。

問 住宅団地整備事業で立ち退き者のうち、入居希望者は全て新築住宅に入れるのか。

問 諸収入のコミュニティ助成金とは。

選んだ です



田中 邦義
金井

田中知事が誕生した7年前の選挙結果に、県民のしがらみのない政治への静かな熱情、誠実な心意気とパワーに、感動と期待を抱きました。が、私は4カ月後「知事の改革への熱意は感じるが、パフォーマンスタシ的なものでは」と、知事へメールを送ったけれど、返信は届かなかった。



山城 賢一
上五明

食農教育に一役、遊休農地の小麦栽培グループに賛同し「ユメセイキ」を栽培。毎年、園児を招き麦踏みと追肥の農業体験は大好きなすいとなになる。農業委員有志で、幻の小麦「イガチクオレゴン」を町の特産にと栽培を始めた。2期目となったが「和して同ぜず」微力ながら最善をつくしたい。



柳澤 澄平

「いつも、ひとりの町民として」の気持ち忘れないうちに、ということば、決して易しくない。直立し続けることは疲れる。少し気楽にと言ってくれる人もいる。そうすると見えたことも見えなくなり、逃げそうでも、また疲れる。だが、初心を大事にして自ら叱咤し、トボトボ歩いてゆこうと思う。



中嶋 登
中之条

ついこの間まで、男の子3人と妻と母とペットの犬と「にぎやか」に暮らしていましたが、末の息子が大学へ行き、母が最近入院をし、今では私と妻と犬だけの生活となり、すこし寂しい思いをしています。人と話をすることが、大好きな私です。いづれどんな時でも、かまいません。お声がけ下さい。



塚田 忠
上五明

おやじは勤め人、お袋は僅かな土地を耕す家の長男として生まれる。15歳で父親を失い、親戚や地域のお付き合いは小さい頃からやられてきた。廻りにばかり目を向け家庭を振り回らないダメオヤジと、たった一人の同居人の女房は言う。趣味は野菜作りと山菜採り。気の合う仲間と騒ぐことの好きなお祭り男。



大森 茂彦
立町

「工業の町坂城」を支えてきた同業者がまた廃業する。零細業者や商店が切り捨てられていく。資本の論理だけでは片付けられないこのまちに住み続けられるよう皆さんとつくりたい。長くクラシックギターをさわっているが、一向に上達していない。誰かの伴奏ができればと夢みて今日もさわる。



入日 時子
月見

困っている人を見ると、ついおっせいかいをやくヒューマニストです。ベシヤワール会員で、アフガン復興支援を続けています。畑ゼミ会員として政治、経済、国際情勢を学んでいます。一日1万歩を目標に夫のリハビリを兼ね、マレットゴルフをしたり、ウォーキングをしています。

あなたの 人



春日 武
北日名

「手上げ要員」と呼ばれることがある。年2回、予算審議と決算の認定は起立で決するが、約100の議案は挙手によるものである。国政の場での体をはった意志表示をみても、ものごとを決める過程の大切さを痛感させられる。町の将来がかかっているのかと思えば、この手にも一層責任の重さを感じる。



林 春江
四ツ屋

「小麦作り？大変ね」よくそう言われる。確かに暑い盛りの収穫は楽とは言えないが、よくしたもので5年も続いている。食の安全が壊れてきた。今、地粉の味覚を通して「食」の大切さを汲んで欲しいと学校給食にも提供している。黄金色に輝く「麦秋」の美しさに魅せられ私の挑戦はまだ続く。



安島ふみ子
込山

自宅で英語教室を始めて6年目となった。思うように授業が進まないことや自分の力不足に落ち込むことが多い。でも、かわいい生徒達の成長の姿を楽しみにし、若いパワーやセンスに触れることができる。私の元気の素の一つである。生活者の視点で政策提言をし、子育て支援策を重点に実現していく。



円尾美津子
金井

5月中旬になると、広くない我が家の庭では草花がぐんぐん伸びる。私も、私も、俺だってここに居る。と他の花より少しでも高くと背丈を伸ばす。花達の自己主張である。赤、黄、白オレンジと咲き競う。その姿には美しいというより迫力を感じる。精一杯に咲き終わると季節は夏に移る。



柳沢 昌雄
金井

15年前の平成4年のこと。当町に温泉を掘削して町民の健康増進と、心身が癒える施設を造ってはどうかと一大熱論で提起した。当時の理事者はこれを理解し、平成9年温泉掘削に成功。14年に湯さん館が開館した。以来、毎日が盛況である。これぞ町民益の一つだ。湯にひたり地域発展の脈層を探す場でもある。



宮島 祐夫
金井

自宅の庭先に「こどもを守る安心の家」の看板があり、朝の登校に年長を先頭に列を作って行き元気な挨拶をし、帰日もまた元気な挨拶をすることをお願い見送る。今年も坂城町菊愛好会南条支部有志で6年生に60鉢の大菊3本仕立の植え込みを終わらせ、開花まで指導し秋の音楽会に観賞でき何よりの楽しみだ。



池田 博武
四ツ屋

還暦を過ぎると脳の細胞分裂が減少していると感じる。脳の活性化の為に休んでいた囲碁の勉強を再開した。碁の手ほどきは18歳の時、川口の叔父さんより受け自称!?段までになった。碁は陣地取りのゲームだが、布石、大局観、打つ手を読むと脳の刺激になる。生涯頭のスポーツとして愛好していききたい。

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)



上五明区民スポーツ大会

住みたいと思う町を

現状の対応で努力する

柳 澤 澄

問 安心の町であるために
地域医療態勢の低下は問題

だ。日赤上山田病院はひとり暮らしや高齢の通院者にとって、切実な公共性の高い施設だ。存続への強い覚悟と方策は。

町長 上山田病院は町民にとっても大きな課題だ。医師の確保ができないことは遺憾だ。国、県にも責任がある。関係機関等と連携し県へ要望している。財政支援もしてきた。病院の自助努力を中心に存続を強く要望していく。

問 経済効果優先で過ぎた数十年の結果、大勢が心身を病んでいる。児童福祉法改正で児童虐待の相談窓口設置が義務づけられた。これと併せて、生活上や心身の悩みの相談先を考える、

見つける、連絡をとる「駆け込み寺」のような窓口を設ける考えはないか。

町長 福祉健康課を中心にみんなで努力している。地域で相談できる態勢も大事だ。できるだけ拡大するよう考えている。

塚田福祉健康課長 保健センター、栄養士、子育て支援センターまた各課等それぞれが窓口になって対応している。簡単でないものについては、関係機関への連絡もする等対応している。

問 教育畑出身の教育長が副町長になった。教育長や課長等への余計な笠という弊害の心配はないか。

町長 みな職務権限が明確になっており、問題ない。

町の地球温暖化対策は

今世紀最大課題と考える



中 嶋 登

問 今年のサミットはドイツで行われ、地球温暖化防止サミットとなり、安倍総理の発案により2050年までに、温室ガスの排出量を半減することになった。また、先進国にガスの削減を義務付けた京都議定書では、日本の削減数値は1990年比6%であったが、逆に8%も増えているのが実状である。県も2010年までに、6%削減目標を決めた。町の考えは。

町長 京都議定書やサミットでの温暖化防止提言がされたことは理解している。温室ガス削減について、住民、事業所、行政が連携を取り合って今世紀最大課題として取り組むべきと考える。

問 役場でエコアクション21に取り組めないか。

中村総務課長 環境マネージメントとしてのイメージが良くなるが、費用は約100万円かかる。県も取得したので、町も研究する。

問 阪神淡路大震災で、消火活動のさいコンクリート製の水槽が漏れて、災害が拡大した教訓を得て、鋼製耐震性防火水槽が開発された。町も設置できないか。

宮下住民環境課長 町には121カ所にコンクリート製の防火水槽がある。新設には約600万円かかる。今後、耐震性に考慮した防火水槽を設置していく。

国保税などの負担軽減を

生活弱者の対応で

大 森 茂 彦



自然エネルギーの活用 太陽光発電

問 定率減税の廃止、65歳以上の住民税非課税措置の廃止など、町民は大幅な税負担になっている。その上年金・医療・介護・障害者支援など、社会保障のあらゆる分野で負担が増え給付は削減されている。

国の施策によるものが大であるが、町民のいのちと暮らしを守るために、予算の1%にあたる6千万円で

①国保税の引き下げ②介護保険・障害者自立支援サービス利用料の軽減③子ども

の医療費無料化を小学校卒業まで引き上げることなどできないか。

町長 税源移譲や税の見直しは、国の財政がひっ迫したためで、国の政策そのものが地方の財源をよりきびしくしている。こうした中で個々の施策でなく、生活弱者に対してどうするかを求められている。痛みを分かち合い、がまんしていたしながら、有効な手立てを求めている。

後期高齢者
医療制度とは

問 来年度より新たにはじまるが、町民への影響は。

塚田福祉健康課長 県下全ての市町村が加入する広域連合で運営され、75歳以上の全ての人が対象となる。保険料は年金から天引きされ、医療費の負担は原則1割負担で、現役並みの所得のある人は3割負担となる。新しい制度なので、十分な広報を行っていく。

柳 澤 澄 議員 8 P

- ①住みたいと思う町を
- ②いじめにあっていいる教育について

中 嶋 登 議員 9 P

- ①地球温暖化防止について
- ②地震災害時の防火活動について

大 森 茂 彦 議員 9 P

- ①税の見直しによる町民への影響について
- ②後期高齢者医療制度について

田 中 邦 義 議員 10 P

- ①住民懇談会で住民と町長の協調を
- ②行政に経営の発想を
- ③オリンパス跡地の活用について

円 尾 美津子 議員 10 P

- ①集大成のまちづくりを問う
- ②環境にやさしいまちづくりを

安 島 ふみ子 議員 11 P

- ①障がい者支援について
- ②教育を優先するまちについて
- ③住基カードの活用拡大を

塚 田 忠 議員 11 P

- ①チクマ精工跡地について
- ②遊休農地の有効利用を
- ③ばらサミットについて

春 日 武 議員 12 P

- ①創造学園大学薬学部について

林 春 江 議員 12 P

- ①中沢町政3期目のスタートにあたり
- ②災害時、要援護者の支援体制について

宮 島 祐 夫 議員 13 P

- ①中沢町長3期目の基本姿勢について

山 城 賢 一 議員 13 P

- ①便利で安心とゆとりがもてる町に
- ②人口減社会について
- ③鳥獣害対策について
- ④スポーツ施設整備について

入 日 時 子 議員 14 P

- ①住民監査請求について
- ②地域医療を守るために
- ③薬学部誘致について

柳 沢 昌 雄 議員 14 P

- ①教育充実町政の指針と具体策について
- ②安全、快適な住環境整備について
- ③坂城インターアクセス道について

住民懇談会で住民と協調を



多様な機会で聴く

田中邦義

問 選挙で住民と町政に隙間を感じた。住民の考えや意見が町政に反映し、的確に実現することが必要である。町民と町長が直接ふれ合い懇談し、意見交換と民意をくみ取る必要がある。定期的に住民懇談会を開くべきでは。

町長 過去に住民懇談会を開いたが、参加者が少なかつた。手法にとらわれずに様々なテーマで、住民の具体的な意見を聴く場をつくり、自律の町づくりに活かしたい。

住民満足度の行政を

問 行政内容をわかりやすく説明し、住民の満足度を高める必要がある。これに

はコスト意識や費用対効果成果を重視する安くて質の高い行政に向けて、経営発想が求められるので、ムダの無い「使い残す予算」の文化をつくるべきでは。

町長 常に将来を見つめ、課題を考え住民満足度を高めたい。住民の協力で知恵と工夫の住民サービス向上に努めたい。予算を残す努力をしている。

問 「薬学部ありき」ではなく、他の選択肢も。

オリンピック跡地活用には地域経済、雇用や税源確保と大学への助成等、薬学部以外の企業誘致の選択肢なども検討すべきでは。

町長 大学が国と協議中で結論は先。運営費助成を考えてない。幅広い活用も。

福祉施策を重点に

水準を高める

円尾美津子



問 中沢町政の2期8年は産業政策に重点が置かれていたと思う。人口減少、少子高齢化社会を迎えて、3期目は福祉政策に軸足を置いてほしい。たびかさなる税制の変更により町民の負担は増えるばかりで「重税感」をひしひしと感じている実態がある。「年金だけでは生活できない」こんな切実な声に身近な自治体として応え、町民生活を直接

応援する施策を求めたいと思うがどうか。

町長 介護・国保・老人保健など国民生活の基盤を保障していく制度は、国の法律や施策によるところが多い。その水準を上回る、水準をより高めていく施策と展開を合わせ進めていく。社会的弱者に心配りをし、その解決に向ける姿勢をより進めていく。

環境基本計画を

問 異常気象や自然災害が多く発生し、地球の温暖化防止対策が求められている。行政としての取り組みはそれぞれの分野で行われているが、効果的に町全体とするため、環境基本計画や条例を制定し、進めていく考えは持てないか。

赤池企画政策課長 計画は問題意識を高め情報を共有し、課題に取り組み、総意を持つてよりよい方向へ進もうという指針であると考えている。

チクマ精工跡地の汚染状況は

第1種有害物質検出されず



塚田忠

るのか。

問 チクマ精工跡地の土壌汚染状況調査および、建物解体処分工事が完了と思うが、調査結果は。また、東南側にある薬品庫と北側にある排水処理施設はどうな

町長 第1種有害物質は検出されなかったが、第2種有害物質は局部的な範囲で確認された。法的にもクリアする処置をし、工業用地

として再生する見通しがたった。一部は公園化する考えもある。

宮下住民環境課長 薬品庫については、県、保健所等と協議をして今後の方針を定め、法的にもクリアさせ処分するよう考えている。

排水処理施設は、土壌汚染対策法（15年2月15日施行）以前に操業を停止し、施設が廃止されているので、適当外であるため撤去の命令は出せない。

問 ばらサミットに合わせバラ園の拡大とバラ公園周辺整備改良はできないか。

町長 バラ園の拡張は困難であるが、西側に親水地を考えている。バラ園は小さくても個性を出し、坂城独自の新品種坂城ローズをつくるべく頑張っている。県の「地域発元気づくり支援事業」で花いっぱいバラの町事業として採択された。町内いたる所、公共的な空地等にバラを植え、花の町にしたいと考えている。

片桐建設課長 町単独のイベントなので予算的にも堤防道路整備は不可能だ。

障がい者相談の強化を

広域で4月から実施

安島ふみ子



問 精神障がい者は、社会全体のストレスが増し、通院患者が大幅に増加したため、全国300万人を越えた。

この3月に策定された町障がい福祉計画を見ると、町も同じ傾向である。

また、軽度発達障がい児の保護者の皆さまも非常に悩んでおられる。

「精神保健福祉士」という専門的資格をもった相談

問 町第4次長期総合計画では21年に建設予定としている給食センターだが、町内小中学校児童数の減少が見込まれるなか「食育センター」等の多目的施設を併設するべきではないか。

また、食物アレルギーを持つ児童にも対応できる給食をつくるセンターにならないか。

町長 子どもらの健康・家庭・地域へつながる食育センターの併設も検討している。新年度、新たな審議会でのなかで相談し、よりよい給食センターの建設をめざしていく。

西沢教育文化課長 新給食センターは、食物アレルギー対応の設備等も検討する



「おいしいね」今日の給食



ミニデイサービス 音楽療法

誘致には大きな覚悟が

広い見地で考えていく

春日 武



問 創造学園大学薬学部誘致は検討の段階と聞くが。
町長 あすの子ども達のためにいま何ができるか、何をしなければならぬか、学園都市づくり目に向けていくことも大事だと思っている。立地に対する支援は考えてみるが決定の段階ではない。オリンピックには大学用地として交渉はしているが、もともと工業用

問 教育機関への効果は。
教育長 最先端の技術に裏づけられた教育を受ける機会を新たに持てるのではないかと。テクノの町さかきをささえる根源的な自然科学的な興味、関心、追求心が高まっていくと思う。
問 産学官連携については
町長 坂城の財政力では心もとない。業界、企業、広域、県へもお願いしたい。

地だ。町内企業の中に新たな用地を求める動きもある町の核になる様な企業があれば考えていく。
問 経営状況が安定していることが誘致の必須条件だが
町長 経営の見通しもたっているという話は聞いているが、詳細はこれからである。経営状況の呈示を求めていく。
問 町民に及ぼす教育的効果は。
副町長 誘致によって新たな地域づくりができるばかりか町の人びとに誇り、元氣、知的関心、豊かな心のほか、新たなものへの挑戦意欲をはぐくんでくれるものが大きいと思う。

自律意識の醸成は

地域おこしの中で



林 春江

問 町長は3期目の町政を担うにあたり『自律のまちづくり』の基盤を確固たるものにするため、自律のまちづくりGOGO実践会議の立ち上げを公約している

が具体的な考えは。
町長 まちづくりGOGO機構の政策提案者と、それに賛同する個人・団体・地域・企業等と情報交換しながら実行性のある方法を考



ハイテクが生む地域の力

え、協働の心を養いながら実践していきたい。
問 『自律』への意識の醸成を高めるにはどこに着眼して政策を進めるのか。
町長 各地区で地域おこしが進んでいる。自主的な取り組みの中で実践への参加を望んでいる。
問 住民参加を進めるには情報共有が不可欠である。予算事業説明書を発刊し、大切な税金の使い道を住民と共有すべきと考えるが。
町長 情報の共有は行政の中で最も大切である。町の施策全体の取り組みがわかるものを検討している。
問 町内各学校は、創意工夫を凝らした特色ある学校づくりをしている。また、大学との連携による特殊な授業を受けているが、その効果をどう受け止めるか。
教育長 各々特色ある素晴らしい活動で成果を挙げている。一番の成果は、それに到達するまでの真剣な取り組みや、そこで得た体験と頑張りの気持ちの醸成できたかという点にあり、これからの人生で必ず役立つ

町長3期目の姿勢は

自律する町を目指し



宮島 祐夫

問 税財源の拡充対策は、地域の特性ある民間の持つ潜在的能力を十分に発揮させ、産業支援をし企業の体質強化を計り、雇用の改善を通じ企業の経営を安定させ、従業員の所得確保に努める対策については。
町長 今後いっそう厳しい財政運営が予想され、行財政改革推進計画の持続的な取り組みにより経常経費の削減と財源確保を図る。培ってきた産業基盤等に起因する潜在的な力と、町税など自主財源比率が恒常的に高いこと、基金や起債の活用を考慮し、自律する町を目指し行財政運営を図る。

により地方分権の推進とともに地方財政に変化をもたらし、18年度の普通交付税3億7千400万円、前年度対比△53・8%、町税の増収基調による基準財政収

入額の大幅な伸び、歳出抑制による基準財政需要額の減少により普通交付税は大きく減額となった。
問 新産業のまちおこし企業の創出、雇用確保による育成強化対策は。
町長 ものづくりのまち坂城を掲げ、信大繊維学部と連携・協働に関する協定、長野大学と実践モデル都市に関する協定、産学官連携による新技術の開発等を目指して活動している。

3期目の抱負は

将来につなぐ集大成に



山城 賢一

問 3選を果たされた町長の今期の抱負は。また、就任にあたり副町長、教育長の所信は。
町長 創意と技術で地域経済の活性化を促し、安全で安心・支え合う子育て・保険・介護・医療の充実と健康づくりを進める。『止まるを知らず始からず』止まるを考え、歪があればそれを進めていく。将来につなぐ町政の集大成にしたい。

副町長 町長を補佐すること
宮崎産業振興課長 電気柵の設置に補助金を交付している。必要に応じてマップの作成も検討したい。
問 運動公園のトイレ施設の整備を。
西沢教育文化課長 河川事務所の支援、協力をお願いし計画していく。

町長 国と地方の財政再建



地域協働で廃工場を片づけ（南日名）

住民監査請求について

監査結果を尊重する



入 日 時 子

問 平成10年の事故で重度障害になり出勤できない職員に、7年間給与が支給されていなかったことに關し、住民監査請求が出された。

監査の結果、3年間は療養休暇、4年間は休職だった。4年間の休職中、3年間は給与が全額、最後の1年間は8割支給されていたことが判明した。条例では休職は最長3年となっており、4年目は条例違反と監査請求でも判定された。

職員の分限に関する条例では「休職者は職員の身分は保有するが、職務に従事しない。休職者は、休職の期間中、条例に特別の定めがある場合を除くほか、いかなる給与も支給されない」となっている。休職ならこの規定にも違反してい

るのではない。町長は条例に違反して支給した1年分の給与のうち、11カ月分は時効で残りの1カ月分54万9千989円だけ返還した。残りの給与分430万円も返還すべきではないか。この事故は「迂回路を造りに行った帰りに起きた」と言っているが当時の議事録に「2m道路に3t車が突っ込んだことが問題ではないか」中沢助役（現町長）も「職員が直接工事に係わる場合は非常に簡易な工事しか行わない。高度な技術および機械を使う工事は業者に頼んでいる」と答弁している。

中村総務課長 住民監査請求は1年となっており11カ月分は監査対象にならない

早期に住環境整備を

全域完成は厳しい



柳 沢 昌 雄

問 南条地域内には豪雨時に道路上に雨水が流れ、それが敷地内に流れ込み困惑している所や、下水道の未設置で日常家庭雑排水の処理が暗渠により行われてい

る実状だ。文明・文化や経済力を誇る町として地域にあり、明暗があり均衡が保たれていないと、行政不信が懸念される。快適な住生活環境が享受できるよう下

防火水槽は万全か

問 防火水槽は、緊急有事に機能しなければならぬが、南日名区内の防火水槽の漏油流入の対応は。

宮下住民環境課長 火災等の緊急の際には近隣の3本の消火栓活用で対処する。



なかなか進まない下水道

水道等未設置地域の早期完成をすべきであるが。片桐建設課長 下水道の進捗状況は平成18年度末で全計画面積619haにつき、供用開始済み面積は264haで普及率は46・9%である。排水を暗渠に頼っている箇所の不都合を解消するには、下水道整備が必要と考えるが今後整備が必要な区域は、355ha残っている。事業費も約80億円が見込まれ、財源の多くを占めている起債も事業の進捗に合わせて、起債残高も増加している状況で、起債の償還の増加と地方交付税の減額や町の財政運営の影響等を考慮し、限られた事業費では短期間での全域完成は現在厳しい状況である。

委員会報告

町内危険箇所を調査

総務産業委員会



水路新設の現場

7月10日、午前9時から建設課の資料を基に説明を受け、現地調査を行った。調査した箇所は、

イ まちづくり交付金事業

①夢の湯／中之条団地の道路改良

②田町／坂城駅までの道路新設

③前田川／入田川までの水路新設

ロ 中之条団地

ハ 町内危険箇所について

水路新設については、水道管やパイプライン等埋設されているため、工事が大変だと予想される。

中之条団地は、総工費5億5千万円。今年度は半分の2棟分の建設で3億円余の予算が組まれた。取り付け道路も広くなり、今後交通の安全が図られる。

田町工区は、県道の拡幅工事と合わせて進められ、代替地も用意されていた。土石流の危険箇所調査では、護岸がえぐられた所もあり、被害が広がらないように、日常の調査と対策が必要だと痛感した。

（入日時子）

鼠橋以北のバイパス

早期事業化を

7月12日、坂城町国道バイパス、県道整備促進期成同盟会総会が開催された。18年度事業報告と決算、19年度事業計画と予算、町機構改革に伴う規約の一部改正、決議案など、全員の賛成で採択された。

上田・坂城バイパス早期完成、鼠橋～力石バイパスと坂城インター先線の早期事業化決定、県道上室賀坂城停車場線（上五明・田町）の拡幅改良の促進を決議した。

総会終了後、長野国道事務所中村副所長より、18号バイパスの進捗状況等について、また、千曲建設事務所高野整備課長から、上室賀坂城停車場線と坂城インター先線の状況等について概要説明をうけた。21年度の暫定供用に向け、半過トンネル掘削工事が年内着手となる。なお、鼠橋以北のバイパス事業化決定に向けて、参加者から強い要望が出され、整備の速やかな実現を願う。（山城賢一）



子どもたちの メッセージ



坂中2年1組
小林 直樹

僕は、いままで何度か町役場に行ったことはあったんだけど、庁舎内の詳しいことはほとんど知りませんでした。なので驚いたことがたくさんありました。

まず、役場の中に議場があることに驚きました。僕は役場とは別の場所にあると思っていました。



坂中2年4組
山岸 彩夏

議会の傍聴の見学をさせていただいて、たいへん貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございます。

とてもいい経験になりました。

私は役場の仕事はどういったことをしているのか、自分の住んでいる所なのにぜんぜん知りませんでした。

また、仕事の内容でも7課24係にも分かれていたのですね、すごいなあと思いました。それにその多い仕事を152人だけでやっているっていうのもすごいと思いました。

町役場は坂城町全体のことをやっているのもっと多い人数だと思っていました。

僕は、町役場を見学してみても、役場に勤めている人はみんな坂城町を盛り上げたり、よりよい町にするために一生懸命働いてくださっているから、本当にありがたいなあと思いました。

でも、坂城町役場を見学させていただいて、坂城町にとっても必要な仕事だということを実感しました。

例えば、議会で私たちの教育のことを議員さん方が真剣に話し合っていて、とても感動し、感謝の気持ちでいっぱいです。

坂城町役場の仕事は、とても大変だと思いますが、これからも坂城町を支えていくってください。

私も役場のみなさんが陰で支えていることを忘れずに、一日一日を大切にしていきたいと思っています。



小路



▼新しい編集委員による初めての「議会だより」ができました。文字を大きく段数を減らし、より読みやすい紙面に刷新しました。

編集後記を『小路』（こうじ）に変え人々の出会いとふれあいの場をイメージしました。

▼定数削減、対面式導入等議会改革が進み、全議員が質問した意気込みを編集しました。

ました。

▼風林火山ブームの今年、町民まつりの「さかきどんどん」は村上義清武士団の行列があります。今から、450年前に思いを馳せるひとときになればと期待します。

▼今議会は、坂中2年生25名の傍聴があり、感想をよせてもらいました。これからも皆さまの傍聴をお待ちしています。

また、写真提供や撮影のご協力をお願いいたします
(宮島祐夫)

新しい編集委員

委員長

宮島 祐夫

副委員長

安島ふみ子

編集委員

中嶋 登

山城 賢一

田中 邦義